

» A級は格上の阿部大樹、チャレンジは卒業チャンプの三神遼矢、ガールズは梅川風子の完全V！

レーニン展望

長らくS級で活躍していた阿部大樹だが、無念のA級落ち。ただ、競走得点を104点持つて降級しており、A級では無敵の走りを演じて欲しい。それが練習仲間の先輩だった、平原康多への恩返しだ。ロングの仕掛けは減ったが、A級戦なら残り1周からも十分持つ。番手のケースでは土田栄二に前を任せ、自力なら地元稻村好将や西村行貴の前で頑張る。北日本は猪狩祐樹と金成和幸の福島コンビ。猪狩はS級でも負け戦を中心に一発があつた。金成も福島88期・スター軍団のひとりだった。

南関は佐藤龍一が主力級。1着を取つてのガツツボーズが有名であり、今期はそのシーンが数多く見られそう。遠征勢では渋いマークーの近藤誠一が6月開催の静岡で優勝。走りはA級の成田和也といった感じだ。

チャレンジはいよいよ127期生が本デビュー。三神遼矢と大本隆也が登場して、三神は在所成績が2位で卒業チャンピオン。今回は師匠の金成と師弟での斡旋。大本は目立つた成績を残していないが、サッカーで鍛えたアスリート。

ガールズケイリンは梅川風子の完全優勝が有力。年末のグランプリの優勝候補の1人であり、普通開催では圧倒的なパフォーマンスを魅せる。次の評価が山原さくらで、無傷で勝ち上がり、決勝で梅川との直接対決。地元アイドルレーサーの河内桜雪や高尾貴美歌は決勝を外さないだろう。

■ 出場予定選手 (A 級)

地区	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県	地区	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県	
北日本	金成 和幸	88	福島	猪狩 祐樹	99	福島							北日本	栗林 巧	89	青森	高橋 明久	98	宮城	大高 彰馬	119	福島				
関東	堀 政美	65	茨城	土田 栄二	115	茨城	稻村 好将	81	群馬	阿部 大樹	94	埼玉	関東	野間 司	94	茨城	塚本 和宏	90	栃木	亀井 雅斗	75	群馬	藤田 竜矢	88	埼玉	
秋葉 大輔	90	東京	西村 行貴	92	東京								川越 宏臣	125	東京											
南関東	田頭 寛之	109	千葉	佐藤 龍二	94	神奈	栗田 雄矢	96	静岡				南関東	齋藤 宗徳	100	千葉	柴田 功一郎	79	神奈	山崎 敦雄	70	静岡				
中国	内藤 敦	80	岡山										中国	山本 貴章	76	岡山	龍野 琳太郎	123	岡山							
四国	近藤 誠二	80	香川	板崎 佑矢	101	愛媛							四国	都築 巧	123	高知	下野 義城	115	愛媛							
九州	國武 耕二	66	佐賀	坂本 晃輝	81	佐賀	上吹越 俊一	99	鹿児				九州	穴井 利久	65	福岡	入田 龍馬	125	鹿児							

出場予定選手(チャレンジ)

※2025年6月23日現在のデータです。

競輪専門紙をいつでもどこでもチェックできる！

アオケイ・小田競・競輪研究・中部競輪の競輪専門紙を、スマートフォンで購読できるサービスがスタートしました！365日24時間最新情報をチェックしていただけます。



【7月開催】GⅡ・GⅢのレース展望

7/3 (木) 4 (金) 5 (土) 6 (日)
小松島記念 **GIII**

この男、まさに最強。その名は古性優作。強くなり始めた頃は「浪速の闘将」と言われて激しいレースばかりが注目されたが、最近は激しさの中にしなやかさが出てきて、技術面や精神面で大きく進化。後半戦のスタートとなる小松島の地でも圧倒的なパフォーマンスを見せてくれるはずで、この絶対王者を中心にシリーズは回っていく。古性の独走状態に待つたをかけるのは、これでもかと揃った地元の徳島軍団。繰り上がりとはいえ今年からS級S班昇班の犬伏湧也は誰もが認め絶対的エース。昨年大会の覇者もあるし、頭の中は「地元連覇!」それだけだろう。元々、能力が高く、スピードスターの太田竜馬は、過去2回の優勝実績。気迫を前面に出すタイプではないが、秘めた闘志の持ち主。玉野記念で鎖骨を骨折したが、地元記念には十分間に合う。今節は、復活のキッカケになる大会にしたい。他にもスピードある島川将貴、クレバーな小川真太郎、一発のある久米良、小倉竜二と阿竹智史の貫禄たっぷりの師弟コンビなど地元勢はタレント揃いだ。

平原康多の引退により、今開催からS級S班に復帰する松浦悠士も当然ながら優勝候補の1人。今年は良かつたり悪かつたりなかなか波に乗れないが、どんなときでも冷静に自己分析できるのがこの選手の長所。足りない部分を補いながら本來の姿に戻していく。

自力とマークの使い分け。これはベテランになつたら誰もが通る道で、岩本俊介にとつても例外ではないが、いまのところはそつなくこなしている印象。今節の南関地区の顔ぶれを見ると松井宏佑や道場晃規に任せたレースが多そうだが、いつも自力を出せる準備はできているはずだし、強烈捲り炸裂の場面もあるだろう。

平原康多の電撃引退は間違いく今年前半のトップニュース。その平原の「後継者候補」と呼ばれる森田優弥は、今まで以上に責任感と覚悟を持つて走る。

今年は勝負の年と決めて、悲願のタイトルを目指している菅田亮道。十八番の快速捲りは、幾つになつても色あせない。後ろを回る佐藤慎太郎や守澤太志もそろそろエンジン全開といきたいところで、コースを見極めながら思いつきり突つ込む。

そして最後に、中部の大砲として頭角を現してきた藤井侑吾にも触れておきたい。組み立て部分で甘さはあるものの、それを補うだけのハイパワーはS級S班選手にも引けを取らない迫力。古性や地元勢が相手でもスタイルを崩さずガンガン行く!

7/10 (木) 11 (金) 12 (土) 13 (日)
弥彦記念 GIII

》 7/14(月) 15(火) 16(水) ナイター ガールズ
京王閣シン東京ミリオンナイトレース GIII

3日制の短期のGⅢレース。S級が7レース、ガールズはAとBの二層制で4レースあり、11レース制。S級の優勝賞金は370万円あり高額だ。ナショナルチームの現役のメンバーで、オリンピックを目指している山崎賢人がV最短。淡泊な走りよりも多いが、スピード自慢のレースをやりたい。番手は九州同士の松岡貴久。関東は吉田有希が徹底先行で、地元も鈴木玄人・大矢崇弘。寺沼拓磨がS1の選手。北日本は近畿は中釜草成と池野健太で、中部は山口富生が元気いっぱい。岡山勢は山口富生が元気いっぱい。塙田宗一郎に実力者の岩津裕介。

ガールズのAは児玉碧衣と地元の石井寛子の2強対決。Bは太田りゆと梅川風子の元ナショナルチーム同士の力比べ。

7/26(土) 27(日) 28(月)
京王閣 東京オーヴァルカップレース **GIII**

短期シリーズだが、S班の眞杉匠と清水裕友の名前が入っている。他にもダービー王の吉田拓矢の参戦もあり、豪華メンバーの7レース制。やはり、眞杉と吉田のワントーが中心。今後、逆並びもありそうで、武田豊樹と平原康多以上の黄金コンビになる。前節のGⅢと同じく、今回も優勝賞金は370万円。関東は他にも吉澤純平と高橋築がラインの構成メンバー。清水裕友は孤軍奮闘のレースになりそうだが、実力と実績はピカイチ。近畿は厚味があり、寺崎浩平を先導役に三谷将太。九州はビッグボスの荒井崇博が後藤輝と東矢圭吾に前を託す。A級戦は、前期S級の吉田昌司と地元の内田玄希。中四国で小川将二郎と大瀬戸潤一郎が別線で勝負。